



令和3年3月30日

## 令和3年度北海道開発事業費 (留萌開発建設部実施分)の概要について

令和3年度北海道開発事業費（留萌開発建設部実施分）について、別紙のとおりお知らせします。

参考として、北海道開発局（本局）の公表に倣い、令和2年度第3次補正予算を含む予算総括表もあわせて添付しています。

### 【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部

全 体	広報官	畠山 浩和	(電話 0164-42-2393)
治水関係	治水課長	齊藤 仁史	(電話 0164-43-5515)
道路関係	道路計画課長	九筈 英司	(電話 0164-42-4526)
港湾・水産関係	築港課長	大黒 俊一	(電話 0164-42-4816)
農業関係	農業開発課長	中川 裕紀	(電話 0164-42-2351)

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式ツイッターTwitter アカウント @mlit\_hkd\_rm



令和3年度

# 北海道開発事業費の概要

令和3年3月

留萌開発建設部

## 令和3年度 留萌開発建設部事業費総括表

(事業費)

(単位：百万円)

事 項	予 算 額	備 考
治 水	2,299	
道 路	7,879	
港 湾 整 備	1,076	
都市水環境整備	112	
農業農村整備	1,191	
水産基盤整備	536	
合 計	13,094	

注) 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。

2. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## 留萌開発建設部事業費総括表（令和2年度第3次補正予算・令和3年度当初予算）

（事業費）

（単位：百万円）

事 項	合 計	令和2年度 第3次補正予算額	令和3年度 当初予算額	備 考
		（令和3年1月29日公表）		
治 水	4,274	1,975	2,299	
道 路	10,023	2,144	7,879	
港 湾 整 備	1,496	420	1,076	
都 市 水 環 境 整 備	112	0	112	
農 業 農 村 整 備	1,791	600	1,191	
水 産 基 盤 整 備	1,016	480	536	
合 計	18,713	5,619	13,094	

注) 1. 農業農村整備及び水産基盤整備を除き、工事諸費は含まれていない。  
2. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

# 令和3年度事業概要

留 萌 開 発 建 設 部

## 【治水事業】

天塩川下流及び留萌川の河川整備

## 【道路事業】

<b>E62</b> 深川・留萌自動車道	老朽化対策 等
国道233号	
国道40号	天塩防災 等
国道231号	老朽化対策 等
国道232号	小平防災、高砂橋架替、北里交差点改良、三泊路肩改良 羽幌南大通交差点改良、老朽化対策 等
国道239号	霧立防災、老朽化対策 等

## 【港湾整備事業】

重要港湾 留萌港  
地方港湾 増毛港、羽幌港、天塩港

## 【都市水環境整備事業】

天塩川下流の自然再生事業及び水辺整備

## 【農業農村整備事業】

実施地区 国営総合農地防災事業 産土地区

## 【水産基盤整備事業】

第3種 苫前地区  
第4種 遠別地区  
北海道第3種及び第4種漁港地区

# 治 水 事 業

近年頻発する水害・土砂災害を踏まえ、第8期北海道総合開発計画の主要施策に基づき、強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤の形成に資するためのインフラ整備や老朽化対策の推進を図り、農林水産業や観光等を担う地域である「生産空間」の保持・形成に資する治水事業を実施します。

また、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に対応するため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進と防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全（老朽化対策）等を推進するほか、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を重点的、かつ集中的に対策を講じ、強靱な国土づくりに取り組みます。

## 【河川改修】

### 天塩川下流

「天塩川水系河川整備計画」に基づき、河道掘削、堤防整備を実施します。



河道掘削(天塩川)

### 留萌川

「留萌川水系河川整備計画」に基づき、河道掘削、導流堤改築を実施します。



河道掘削、導流堤改築(留萌川下流市街部)

## 【河川維持修繕】

### 天塩川下流・留萌川

安全・安心な河川の機能維持のため、堤防除草や河川巡視・堤防点検を行うとともに、既存施設が機能発揮するよう、必要な河川管理施設の補修・設備の更新、老朽化対策を行うなど、コスト縮減に努めつつ、適切な河川の維持管理を実施します。

## 【堰堤維持】

### 留萌ダム

適切なダム管理のため管理施設の点検整備や流木処理、管理用発電設備の安全で効率的な運用を実施します。

また、利水者と連携した洪水調節機能の強化を引き続き実施します。



チバベリ湖(留萌ダム)

# 道 路 事 業

## <基本方針>

北海道開発については、北海道の資源・特性を活かして我が国の発展と課題解決に寄与するため、国が策定するビジョンである北海道総合開発計画に基づき諸施策を推進しています。現行の第8期北海道総合開発計画（平成28年3月29日閣議決定）においては、「世界の北海道」を目指し、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業として位置付けており、引き続き食と観光を担う「生産空間」の維持と発展に取り組んでいく必要があります。

具体的には、激甚化・頻発化する気象災害や切迫する大規模地震、インフラの老朽化の現状を踏まえ、道路の防災対策、老朽化対策や交通安全対策等、社会資本の戦略的な維持管理・更新を推進します。

また、国内外の新たな観光需要を取り込むため、地域資源を活かした多様な観光メニューのより一層の充実が必要です。このため、多様な機関との連携のもと、「シーニックバイウェイ北海道」の推進、道の駅の整備等のドライブ観光促進の取組や、サイクルツーリズムの推進に取り組めます。

## <事業内容>

### 1. 食料供給基地としての持続的発展及び世界水準の観光地の形成を目指す地域社会の形成

#### (1) 「生産空間」の生活を支える「道の駅」の活用・充実

北海道の地方部に広域に分散している「生産空間」の維持・発展のため、道の駅を地方創生や観光を加速させる拠点として、インバウンド観光の受入体制、交通結節点機能や防災機能の強化、子育て応援施設など、地域拠点機能の強化を推進し、人流・物流の交通ネットワークと日常生活機能を保持する取組を推進します。

また、令和2年7月11日に新規オープンした道の駅「るもい」は、深川・留萌自動車道の留萌ICに近接する立地条件から、留萌管内における地域拠点としての機能や他の道の駅との連携拠点としての機能を担えるよう、関係機関との連携・検討を推進します。



道の駅「るもい」（令和2年7月11日オープン）

#### (2) 「シーニックバイウェイ北海道」の推進

シーニックバイウェイ北海道は、みちをきっかけに地域と行政が連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを目指す取組です。

留萌開発建設部は管内指定ルートである「萌える天北オロロンルート」の活動を支援するとともに、多様な機関と連携・協働し、地域のドライブ観光を促進します。



国道232号苫前町上平  
2018年度 道北ルート連携フォトコンテスト  
萌える天北オロロンルート賞作品

### (3) 北海道におけるサイクルツーリズムの推進

世界水準のサイクルツーリズム環境の実現に向けた「北海道サイクルツーリズム推進方針」を踏まえ、多様な関係機関と連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善や情報発信等の取組を推進します。



留萌管内サイクリング状況

## 2. 強靱で持続可能な国土の形成

### (1) 道路の防災・減災対策

地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、緊急輸送道路上の橋梁の架替、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。

また、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和2年12月11日閣議決定）を重点的かつ集中的に推進します。



緊急輸送道路上の橋梁の架替（高砂橋）

国道40号	天塩防災
国道231号	防災対策
国道232号	小平防災 高砂橋架替、防災対策
国道239号	霧立防災、防災対策



道路斜面对策（苫前町力屋）

### (2) 冬期災害に備えた対策の推進と災害発生時における地域支援

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、一般国道等の現道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。また、災害発生時における被災地支援のため、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊：リエゾン<sup>注</sup>を含む）等により、被害拡大の防止、被災自治体管理施設の被災状況調査、被災地の早期復旧等に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。



防雪対策（防雪柵の整備）

（注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員）

### (3) 道路施設の老朽化対策

道路施設が有する機能を長期的にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。

国道40号  
国道231号  
国道232号  
国道233号  
国道239号

**E62**

深川・留萌自動車道

橋梁・トンネル修繕ほか



橋梁点検



橋梁修繕

### (4) 交通安全対策の推進

事故データ、地域の声やビッグデータを活用した分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプラン<sup>※</sup>を推進するとともに、高規格幹線道路の暫定2車線区間については、正面衝突事故対策としてワイヤロープの設置を計画的に推進します。また、未就学児を含む子供の移動経路における交通安全の確保に向けた取組について関係機関と連携し推進します。

※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組。



交差点改良

国道232号 北里交差点改良  
【令和3年度新規事業化】  
羽幌南大通交差点改良  
三泊路肩改良  
【令和3年度新規事業化】

**E62** 深川・留萌自動車道

ワイヤロープの設置



ワイヤロープの設置状況

# 港 湾 整 備 事 業

## 【港湾改修事業】

### 重要港湾 留萌港

[三泊地区]

施設老朽化への対策を行うとともに、船舶の安全な航行を確保するため、西防波堤及び南防波堤の整備を進めます。



西防波堤改良工事施工状況

### 地方港湾 増毛港

[本港地区]

小型船の輻輳や狭隘を解消し、荷役の効率化を図るため、水深3.5m船溜物揚場、港湾施設用地（船溜）の整備を進めます。また、高波による利用障害を解消するため、北防波護岸の改良整備を進めます。



水深3.5m物揚場工事施工状況

### 地方港湾 羽幌港

[本港地区]

小型船の輻輳や狭隘を解消し、荷役の効率化を図るため、水深3.5m物揚場の整備を進めます。



水深3.5m物揚場工事施工状況

### 地方港湾 天塩港

[本港地区]

航路埋没への対策を行い、船舶の安全な航行及び操船を確保するため、水深6m航路、西外防波堤の整備を進めます。



水深6m航路浚渫工事施工状況

# 都市水環境整備事業

## 【総合水系環境整備事業】

天塩川下流では、自然再生事業として、恵み豊かな汽水環境を再生するための河岸整備等を実施します。



天塩川(河岸整備箇所)



オジロワシ(天塩川にて撮影)

天塩川下流では、天塩町内において「天塩かわまちづくり」計画と連携し、まちづくりと一体となった水辺整備を実施します。



かわまちづくりを行う天塩町

北海総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、川に関する情報を効果的に発信するとともに地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進します。



# 農業農村整備事業

留萌管内の農業は、地域特性を活かし、酪農、畑作及び水田と多種多様な農業が営まれ、生産の安定を目指した事業を行っています。

## 実施地区

### 【国営総合農地防災事業】

産土地区（受益面積 2,289ha）

泥炭土に起因した地盤沈下により機能低下が生じた農業用排水路及び農用地の機能を回復するため、国営総合農地防災事業「産土地区」の整備を進めます。  
（排水路12条、暗渠排水等2,289ha）



産土地区の暗渠排水施工状況

# 水産基盤整備事業

## 【特定漁港漁場整備事業】

留萌管内の第3種及び第4種漁港は、日本海有数の好漁場である武蔵堆の近傍に位置し、刺網やエビ籠などの地域沿岸漁業、周辺海域で操業する道内外からのイカ釣り漁業の生産・流通拠点として重要な役割を担っています。また、道内はもとより国内へのホタテ種苗の供給や韓国等で高い需要のある活ホタテガイ輸出など、我が国の水産業の競争力強化に貢献しています。

このことを踏まえ、2021（令和3）年度は「水産物の流通効率化や生産性向上のための基盤強化対策」及び「災害に強い漁業地域づくりのための防災・減災対策」を重点的に推進します。

### 苫前地区（第3種）

漁港内への漂砂の流入を防止するための防砂堤、漁船の大型化に対応した船揚場の整備を推進します。

- ・ 外郭施設：東外防砂堤
- ・ 係留施設：船揚場（改良）



東外防砂堤の工事施工状況

### 遠別地区（第4種）

漁業活動の安全性を確保するための防波堤の整備に向けた調査等を行います。

- ・ 外郭施設：南防波堤（改良）

### 北海道第3種及び第4種漁港地区

漁港施設の長寿命化を図るため、苫前漁港及び遠別漁港において防波堤の補修を行います。

苫前漁港

- ・ 外郭施設：北防波堤（補修）、東防波堤（補修）

遠別漁港

- ・ 外郭施設：新北防波堤（補修）